

でんち

一般 電池工業会
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <http://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <http://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 清水義正

2019年1月1日

第89回二次電池第2部会を開催

平成30年12月7日、湯浅部会長(パナソニック(株))を議長に、第89回二次電池第2部会を開催した。湯浅部会長、清水専務理事からの挨拶があった。続いて、各委員会の代表から平成30年度におけるこれまでの活動報告がなされた。



1. 湯浅部会長挨拶

11月28日、廃棄リチウムコイン電池が原因と思われる火災があった。端子の絶縁を行うことは常識と考えがちだが、一般ユーザーへの啓蒙は重要であると認識した。



2. 清水専務理事挨拶

火災の件で、ボタン電池と報道されたためボタン電池回収にも影響が出た。正しい情報を伝えていくことが重要。またリサイクラーを訪問しEV用電池の処理について聞いたが、色々なところで検討が始まっている。BAJも積極的に関与して安全に処理できるよう連携して進めていきたい。



3. 新委員の紹介

川崎重工業の吉山委員より、新任の挨拶が行われた。

4. 各委員会からの報告

各委員会より資料に沿って活動内容の説明がなされ、承認された。以下報告概要の項目番号は、報告資料に合わせてあり、欠番については省略している。

(1) 技術委員会

IEC規格については国際電池規格委員会で報告されるので省略。

各分科会等報告

<リチウム二次分科会>

- ・ JIS C 8711の改正：原案を日本規格協会に提出。
- ・ JIS C 8712-2の改正：1/12 より改正案審議を再開。

<LIB安全性技術WG>

- ・ JARI 電池標準化対応：DISC試験のFISC試験との同等性を議論。

<据置LIB分科会>

- ・ JIS C 8715-2 改正対応：11/9 に経済産業省への申出が完了。

<ニカド・ニッケル水素分科会>

- ・ JIS C 8705,8708 (ポータブル用) 改正：原案作成委員会を2回開催

- ・ JIS C 8712-1 (Ni-Cd, Ni-MH 安全規格) 制定：予備検討開始。

<産業用ニッケル水素分科会>

<PSE WG>

- ・ 電気用品安全法での直流機器の規制対象化の検討

<蓄電システムWG>

- ・ 「公共建築工事標準仕様書」改定二次案：大きな変更要請は行っていない。
- ・ 「電力貯蔵設備工事特記事項書式」改定案作成：文部科学省の依頼に対応中。
- ・ 「電気設備工事管理指針」の改定意見：建設電気技術協会の依頼に対応中。

<環境規格分科会>

- ・ LIBの湿式法リサイクラーの見学/意見交換会実施

技術委員会審議事項

- ① SBA S1101 の廃止の件 →承認 (廃止の時期は、JIS C8715-2公示後、6ヶ月の猶予期間後に廃止の予定)
- ② IEC62133-2のFISC試験についての質問票：本文に残す(オプション2)を選択。
- ③ 二次電池用語の活動はリーダーを決めて来年度も継続。

(2) 国際電池規格委員会

IEC規格 SC21A

- ① WG1 IEC63115-1 Ed.1 (産業用ニッケル水素電池の性能規格)：CDV 移行決定。
IEC63115-2 Ed.1 (産業用ニッケル水素電池の安全規格)：2nd CD 移行決定。
- ② WG2 IEC61951-1(ニカド電池 性能)：規格改正 (Edition 5)が決議。
IEC61951-2(ニッケル水素電池 性能)：規格改正 (Edition 5)が決議。
- ③ WG3 IEC61960-3(携帯機器用Li二次 性能)：Stability date 延期(2020年)が決議。
IEC61960-4 ED1 (コイン二次 性能)：CDV 移行決定。
- ④ WG4 IEC62133-2(ポータブル機器Li二次 安全)：質問票回付。
- ⑤ WG5 IEC62619 (産業用 Li 二次電池 安全)：規格改正 (Edition 2)が決議。
IEC63056 ED1 (蓄電システム用 LIB 安全)：CDV 可決(速報)。
IEC63057 ED1 (駆動用を除く自動車 LIB 安全)：CDV 可決(速報)。

IEC63118 ED1 (駆動用を除く自動車 LIB 性能) : 2月にTC21 WG2 会議開催予定。

⑥ WG6 IEC63218 ED1(SC21A 対象電池の環境) : NP 可決。

⑦ TC21-SC21A 責務分担 : TC21, SC21A の組織変更可決。

IEC規格 その他のTC

① TC21/WG9 IEC62902 ED1 (電池識別表示) : 2nd CDV 投票可決。

② TC21/WG10 IEC62485-5 ED1 (定置用 LIB 組電池の安全) : CDV 移行決定。

IEC62485-6 ED1 (駆動用 LIB 組電池の安全) : CDV 移行決定。

③ TC21/JWG69Li IEC62660-1 Ed.2 (自動車用 LIB の性能) : FDIS 投票可決。

IEC62660-2 Ed.2 (自動車用 LIB の信頼性・誤用) : FDIS 投票可決。

④ TC35/JMT18 IEC62281 (リチウム電池 輸送安全) : CDV 投票可決。

⑤ TC35/WG19 IEC60086-6 ED1 (一次電池環境規格) : 2019年1月CDV 回付予定。

⑥ TC61 WG31 IEC60335-1 (家庭用電気製品の安全性) : CDV 移行決定。

ANSI規格 : IEC規格に整合する方向で開発中。

IEEE規格 : Sub WG を設置して検討することが決議。

(3) 国際電池輸送委員会

Japan Aviation Battery Safety Summit (UL Inc.主催)

航空輸送に関する様々な業界団体が参加して、知識の共有と意見交換を行い、安全に関する課題を共有した。

ICAO 会議 (ICAO DGP WG18)

結論を出さずに次回以降も継続審議となる案件が多くあった。

① リチウム電池マークに記載する電話番号の内容明確化

② 損傷/欠陥リチウム電池の判断基準の明確化

SAE G-27 新包装基準作成会議 Face to Face 全体会議

Generic Packaging (汎用包装) と Benign (類焼しない電池) セル/バッテリーの試験等は継続審議となった。External Fire (もらい火) については、規格本体と分けた個別の規格 (Slash Sheet) としてまとめることで検討を進めることとなった。

リチウム金属電池およびリチウムイオン電池の輸送に関する手引書

第9版(2019年度版)の完成に向けて、臨時の委員会を開催。

(4) 普及促進委員会

活動報告

- ・ 10/31 に H 3 0 年度版提言書の最終報告を実施。
- ・ 加えて、災害に起因する停電に対しての蓄電池を用いた国土強靱化への要望を説明。
- ・ 長崎県五島市 地域振興部 再生可能エネルギー推進室と意見交換を実施。
- ・ 広報WGの業務は、普及促進委員会にて運用することとした。

<大形カスタムWG>

- ・ 提言書修正。

<法規WG>

- ・ 消防法規制適正化 : 消防庁内で適正化を検討するとのコメントを得た。

(5) 駆動用車載LIB委員会

活動内容

- ・ 車載用LIBのリサイクル・リユース課題提案
安全性を担保することを大前提とした上で、車載用LIBのリサイクル・リユースについて、経済産業省に説明を行った。
- ・ 二輪用LIBのリサイクル
JBRC/BAJ 事務局が自動車工業会(JAMA)の二輪メーカーとの面談実施。

(6) PL委員会

活動報告

- ・ 電池の正しい使い方等に関する啓発資料の作成
『We LOVE DENCHI』の細かい表記の修正を行った。
- ・ 消費者庁の事故情報収集
モバイルバッテリーは2014年から増加傾向、スマートフォンは2015年から横ばい、ノートパソコンは2016年から横ばい。
- ・ その他
NITE 製品事故予測システム(試用版)の説明会に参加し、問題点等の指摘を行った。

(7)再資源化委員会

- ・「小型充電式電池の識別表示ガイドライン」、改正に向けた検討
- ・リサイクル表示の実態調査
- ・青森県八戸市のリサイクラーの工場視察を実施。

(8) 広報総合委員会

活動報告

火災の件に関するマスコミや自治体からの問合せ内容が紹介された。

①キャンペーン・PR関係

- ・みらいのでんちアイデアコンテスト：11月11日の電池の日に受賞者発表
- ・啓発キャンペーン第2弾「電池は正しく使いましょう」：毎日新聞に掲出
- ・手づくり電池教室：全国49カ所応募あり（43カ所終了）
- ・電池エネルギー体験教室：4カ所応募あり（2カ所終了）
- ・自動車バッテリー定期点検の奨励：スポーツニッポンに掲載
- ・誤飲防止の喚起：雑誌「ひよこクラブ」に掲載
- ・電池月間キャンペーン：HP上でキャンペーンクイズを含むPR開始

②情報発信

- ・ホームページ：随時改定
- ・機関紙「でんち」：毎月発行

③展示会・イベント

- ・でんちフェスタ（東京）：11/3（土）

(9) 国際環境規制総合委員会

①環境関連国際会議への参加及び海外現地調査

- ・国際電池リサイクル会議（ICBR）参加

②環境関連施設の視察（富山市エコタウン）

- ・富山市エコタウン リサイクル施設を見学

③地域別状況

<欧州>

- ・欧州委員会、電池・廃電池指令の見直しに向けた委託研究の最終報告書を公表。

<北米>

- ・カリフォルニア州、過塩素酸塩規制とプロポジション65。

<アジア>

- ・韓国環境部、EPR 及びRoHS 制度の対象製品を拡大。

<中南米>

- ・メキシコ経済省、水銀及びカドミウムの最大許容値などを定めた公式規格を公布。

5. JBRC 報告

I. 会員状況

- ・12月1日現在：352法人

II. 具体的施策 実施方針

1. 小型充電式電池の安全な回収・再資源化処理の強化
 - (1) 新規業者の初期流動管理状況：安定運用中
 - (2) 一般廃棄物広域認定：新規取得完了。10月1日より運用開始。
2. 小型充電式電池の回収量確保と回収推進策の強化
 - (1) 回収量の確保（平成30年4月～10月）
 - ①回収状況：前年同期比 113.6%
 - ②再資源化率：Li-ion 新方式52%
 - ③各種正極系リチウムイオン電池回収量推移：Li-ion 回収量 151.9t
 - (2) 回収推進策（平成30年4月～10月）
 - ①展示会・イベント出展：4か所終了。

2018年度第3回一次電池部会を開催

2018年12月14日、村上部会長(パナソニック)を議長に、2018年度第3回一次電池部会を開催した。冒頭、村上部会長よりBAJ競争法コンプライアンス・ルールに則り部会進行する旨の宣言がなされたのち、専務理事の挨拶、続いて事務局報告があった後、各委員会の代表者より活動報告があった。



1. 清水専務理事挨拶

マスコミにはボタン電池と掲載されたが、コイン形リチウム電池による火災が大阪府と和歌山県であった。対策としては、電池の廃棄処理を徹底していくことが重要であると思う。このように火災が発生すると回収そのものも問われかねないので、きっちりとした安全な処置をしていただけるように発信していくことが大事である。

12月12日に「プロ野球最優秀バッテリー賞」のイベントがあった。このイベントは、スポーツニッポンが主催し、BAJが協力しているが、鉛電池をアピールする場所でもある。スポーツニッポン社にお願いして、鉛蓄電池点検の記事を書いてもらった。安全に関する啓発はあらゆる機会を使うことは重要と考えるので、来年もこのイベントは残したいと考える。

新しい取り組みとして、雑誌「ひよこクラブ」に、コイン形・ボタン形電池の誤飲に関する注意喚起を掲載したが、いろいろチャレンジして事故や火災をなくしていくことは大事である。引き続き知恵を出して、電池の正しい使い方・破棄方法の啓発や注意喚起などを行っていただきたい。

1. 審議事項

1) 各専門委員会の2018年度活動経過報告について

(1) ボタン電池回収推進委員会

* ボタン電池回収状況 (4~11月)

・回収協力店数は4~11月の間では純増。回収重量は累計で前年比増109%。

(2) 器具委員会

* BAJホームページの器具に関する内容の改訂
ヘッドランプの内容を追加など。

* BAJ規格の改正審議

引用JIS規格の見直しと規格の改正内容を整理。

* 視察研修会の報告

(3) 資材委員会

* 主要5材料の需要・供給・価格動向のまとめ

* コンプライアンス遵守：下請法に関する意見交換

* 視察研修会の報告

(4) 消費者委員会

* 有事発生時の支援物資供給可能数まとめ

* 支援物資の供給についてMETIとの打合せ

* コイン形リチウム一次電池の誤飲防止パッケージの
導入状況調査

* 視察研修会の報告

(5) PL委員会

* アルカリボタン電池の破裂事故への対応

BAJホームページでの啓発内容を検討

* 電池事故事例 (NITE事故速報など) の情報共有

* 視察研修会の報告

(6) 技術委員会

* 規格小委員会活動 (IEC関連)

IEC TC35ワルシャワ会議 (10月) に向けた審議及び会議後の対応実施を、9/7、10/11、11/7の小委員会で実施。

1) IEC 60086-2 (一次電池個別製品)、IEC 60086-3 (時計用電池)

・ワルシャワ会議で日本よりIEC 60086-2及びIEC 60086-3への電池形式登録に関し、今後、新規、変更及び削除登録は一括管理表で審議することを提案し了承された。

・日本提案の一括管理表を用いた形式登録の可否判断

(DC文書) を行った上で試験条件およびMAD値を審議し、その後CD発行。(IEC60086-2のみ)

2) IEC 60086-2 (一次電池個別製品) : Toy testは、現行2条件及び米国提案試験条件の3種類となるため、望ましいToy TestについてDC文書により各国からコメントを募る。

3) IEC 60086-1 (一次電池通則) : Annex F MAD値の計算式見直しがCDVに反映される。

* 規格小委員会活動 (JIS関連)

1) JIS C 8513 (リチウム一次電池の安全性) 改正原案作成審議

JIS原案作成公募に作成期間2019年4月~2020年3月として応募を実施。

(対応国際規格IEC 60086-4 ED5のFDIS発行が2018年12月のため、この後作業開始)

* リチウム小委員会活動

1. IEC TC 35ワルシャワ会議 (10月) に向けた審議及び会議後の対応実施

1) MT14 : IEC 60086-1 (一次電池通則)、IEC 60086-2 (一次電池個別製品仕様)

規格小委員会活動 (IEC関連) 参照

2) MT13 : IEC 60086-3 (時計用電池)

・MAD値 : 日本案の放電抵抗値と対応するMAD値の考え方について概ね合意を得た。

・IEC 60086-3 ED.5 1stCD : 寸法公差、放電条件、温度公差等、概ね日本の意見に合意。

3) MT15 : IEC 60086-4 (リチウム電池の安全性)

・Annex E (誤飲事故防止パッケージ) : 概ね異論なく決議。

・Annex F (誤飲事故防止のグラフィカルシンボル (セーフティーサイン)) :

将来の対象製品範囲、直径16mm電池への刻印の可否等は次版ED6以降に再度審議。

4) JMT18 : IEC 62281 (リチウム電池の輸送関連)

・IEC 62281 ED4のCDV投票 (2018年9月) は100%賛成。

2. リチウム金属電池輸送規制対応

1) SAE G27新包装基準 (AS6413) 作成会議 (第7回 11/5-8開催@ドイツ ブレーメン)

・最新版の新包装基準書 (AS6413) のドラフト版を基に、Generic Package (Oversize Package) と Benign battery (無害な、安全なバッテリー) について審議。賛成派と反対派に二極化し、議論が進まず、タスクフォースを設置して対応していく。

2) ICAO会議 (ICAO DGP WG18) (10/1-5開催@カ

ナダ モントリオール)

・本会議が第1回目WG（全3回）であり、結論を
さず、次回以降に継続議論。

*リチウムコイン電池の誤飲対策セルWG、誤飲対策
パッケージWG活動

・ワルシャワ会議に向け資料作成。ワルシャワ会議
後、大きな課題がなく、一時休会。

*リチウムコイン二次電池国際規格WG活動

1) IEC 61960-4 (コイン形リチウム二次電池性能規格)
・IEC TC 21/SC 21A 釜山会議 (2018年10月) で、
本規格はCDVへ移行が決議。次回、米国会議
(2019年4月) にてCDV 審議を行い、2019年9月の
IS発行を予定

2) IEC 62466 (ウォッチ用リチウム二次電池性能規格)
・釜山会議のSC21A プレナリー会議において、
JWG35の時計用マイクロ電池関連の規格開発は
IEC 61960-4を参照することで対応し、IEC 62466
の開発中止が決議された。

*環境規格 WG活動

・2018年9月にDraft CDVへのコメントを出し、10
月のTC35ワルシャワ会議でレビュー実施。特に問
題なし。現在、最終確認中で、予定通り2019年1月
にCDV発行予定。

(7)国際環境規制総合委員会

*国際電池リサイクル会議 (ICBR/9月ベルリン)

*富山市エコタウン視察 (10月)

*地域別 (欧州/北米/アジア/中南米) の環境規制
状況アップデート

・欧州: 電池指令見直しのための調査報告書
・北米: カリフォルニア州過塩素酸塩規制・プロポ
ジション65
・アジア・オセアニア: 韓国EPR制度とEV用電池
の回収・リサイクル
・中南米: メキシコ公式規格(水銀・カドミ最大許容量)

*その他活動計画

・「世界の電池環境規制の状況」の追補電子版の作成
準備

(8)広報総合委員会

*キャンペーン・PR活動

・みらいのでんち/どうぐアイデアコンテスト: 11
月11日の電池の日にHP上で受賞者の発表
・啓発キャンペーン第2弾: 「電池は正しく使いましょ
う」PR (11/9、11/16、11/23)

・手づくり電池教室: 全国49か所 (昨年: 38か所)
から応募、順次対応中 (43か所終了)
・電池エネルギー体験教室: 4か所から応募、2か所
終了
・自動車バッテリーの定期点検の奨励: スポーツニッ
ポンに、記事広告を掲載 (9/12)
・誤飲防止の喚起: 雑誌「ひよこクラブ」12月号に
誤飲防止の広告を掲載
・電池月間キャンペーン11/1からHPで「電池の日」
「バッテリーの日」のPRを開始

*情報発信関係

・HP随時改訂、機関紙「でんち」毎月発行

*展示会、イベント

・でんちフェスタ (東京): 11/3 こども未来創造館 (東
京都足立区)
・でんちフェスタ会場候補: 12/4「高知みらい科学館」
を視察

「2018 プロ野球最優秀バッテリー賞」表彰式

今年で28回目を迎えた「2018 プロ野球最優秀バッテリー賞」(主催:スポーツニッポン新聞社、協力:一般社団法人電池工業会)の表彰式が、平成30年12月12日(水)、東京都文京区の東京ドームホテルで開催された。

今年で28回目を迎える本賞は、投手だけでなく、日頃は縁の下の力持ち的な存在の捕手にもスポットライトを当て、最強の「バッテリー」を表彰するもの。投手はローテーションの軸として、あるいは抑え投手として年間を通して活躍したことが最低条件。先発投手なら10勝、抑えの投手なら20セーブが目安とされている。また、捕手はインサイド・ワーク、盗塁阻止率の高さ、捕逸の少なさなど総合的に判断される。

今回の最優秀バッテリー賞は、セ・リーグからは広島の大瀬良大地投手と会沢翼捕手、パ・リーグからは

西武の多和田真三郎投手と森友哉捕手の両バッテリーが初受賞した。また、巨人の菅野智之投手が特別賞を受賞した。

「バッテリー」つながりで創設以来本賞の開催に協力している電池工業会からは、プレゼンターとして清水専務理事が出席し、各受賞選手にカーバッテリー1個の引換証と乾電池320本の目録を贈呈した。

表彰式の模様は、当日の夕方および翌朝のニュースおよびスポーツニュースと翌日付けの各新聞・スポーツ新聞などで報道された。



(写真1) 大瀬良大地投手



(写真2) 会沢翼捕手



(写真3) 多和田真三郎投手



(写真4) 森友哉捕手

写真提供:スポーツニッポン新聞社

平成30年 12月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	13日(木)	広報総合委員会	2018年度の活動状況の確認、2019年度の活動計画、2019年度のでんちフェスタについて、2018年度のでんちフェスタについて、視察について、他。
	18日(火)	新種電池研究会	国立研究開発法人 物質・材料研究機構を訪問。意見交換と施設見学。
	19日(水)	第220回 講習実施委員会	神奈川県にて開催した蓄電池設備整備資格者講習の修了考査につき、合否を判定。
	19日(水)	国際環境規制総合委員会	地域別アップデート、海外出張の報告、他。
二次電池部会	6日(木)	据置アルカリ分科会	産業用ニッケル水素分科会との合同会議。
	11日(火)	PL委員会	表示ガイドライン見直し検討、他。
	20日(木)	産業電池技術サービス分科会	SBA G 0606改正審議、他。
	20日(木)	産業用電池リサイクル委員会	広域認定変更申請の状況審議、他。
	21日(金)	用語分科会	SBA S 0405規格の改正審議、他。
二次電池第2部会	4日(火)	国際電池輸送委員会	IEC ANSI IEEE 規格 対応。
	5日(水)	法規WG	蓄電池の規制検討。
	6日(木)	産業用ニッケル水素分科会	据置アルカリ分科会との合同会議。
	7日(金)	二次電池第2部会	各委員会からの報告および審議。
	10日(月)	環境規格分科会	IEC 規格対応。
	12日(水)	普及促進委員会	経済産業省との意見交換。
	13日(木)	リチウム二次分科会	IEC 62133-2改正審議、JIS C 8712-2原案作成審議、他。
	14日(金)	据置LIB分科会	IEC 規格対応。
	17日(月)	再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応。
	18日(火)	非駆動用車載LIB分科会	非駆動用LIBのIEC規格策定。
	20日(木)	ニカド・ニッケル水素分科会	IEC、JIS規格の審議。
	20日(木)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応。
	21日(金)	国際電池規格委員会	IEC IEEE ANSI 規格対応。
	21日(金)	大形カスタムWG	大形蓄電池システムの普及促進検討。
	26日(水)	リチウム二次分科会	JIS C 8712-2原案作成審議、他。
	26日(水)	産業用ニッケル水素分科会	IEC 規格対応、審議。
一次電池部会	5日(水)	リチウム小委員会	IEC60086-4 ED5 CDV コメント対応、IEC 62281 FDIS 確認、リチウム電池輸送規則対応、他。
	6日(木)	技術委員会	各小委員会及びWGの活動報告。
	7日(金)	規格小委員会	IEC 60086シリーズの検討、JIS C 8513改正検討。
	14日(金)	一次電池部会	各委員会からの報告。
	21日(金)	器具委員会	SAB S 1601 携帯電灯の改正審議、他。

10月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2018年10月）

単位：数量一千個、金額一百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	428,702	83,995	109%	111%	3,935,159	782,578	103%	109%
一次電池計	261,298	10,114	104%	109%	2,341,276	80,038	102%	100%
酸化銀電池	68,508	993	95%	90%	636,915	9,396	90%	82%
アルカリ乾電池計	116,613	5,758	129%	125%	886,705	38,722	115%	107%
単 三	—	—	—	—	—	—	—	—
単 四	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	22,662	1,855	142%	140%	133,910	10,741	109%	109%
リチウム電池	76,177	3,363	86%	94%	817,656	31,920	100%	98%
二次電池計	167,404	73,881	117%	111%	1,593,883	702,540	104%	110%
鉛電池計	2,812	17,698	106%	113%	25,993	157,574	100%	106%
自動車用	2,174	11,799	108%	117%	19,853	102,217	101%	109%
その他の鉛蓄電池	638	5,899	99%	106%	6,140	55,357	95%	101%
アルカリ蓄電池計	44,672	17,003	114%	117%	433,920	152,790	101%	104%
ニッケル水素	41,376	16,348	119%	121%	398,055	145,726	102%	106%
その他のアルカリ蓄電池	3,296	655	75%	64%	35,865	7,064	91%	76%
リチウムイオン蓄電池計	119,920	39,180	119%	108%	1,133,970	392,176	105%	115%
車載用	82,057	28,655	138%	124%	717,526	273,281	114%	125%
その他	37,863	10,525	91%	80%	416,444	118,895	92%	97%

10月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(2018年10月)

単位：数量一千個、金額一百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	230,307	54,213	105%	118%	2,166,106	495,740	97%	114%
一次電池計	100,233	2,636	96%	94%	938,019	25,589	93%	97%
マンガン	0	0	—	—	28	1	1783%	23%
アルカリ	7,205	156	157%	184%	34,857	737	93%	98%
酸化銀	47,863	661	99%	116%	418,126	5,604	86%	97%
リチウム	45,165	1,779	89%	87%	483,974	17,332	100%	91%
空気亜鉛	0	0	0%	0%	790	8	85%	82%
その他の一次	0	40	0%	43%	244	1,906	865%	201%
二次電池計	130,074	51,577	113%	120%	1,228,086	470,151	101%	116%
鉛蓄電池	189	1,369	100%	103%	1,809	14,429	101%	112%
ニカド	890	133	41%	57%	13,945	1,565	81%	89%
ニッケル鉄	0	0	—	—	1	3	2011%	222%
ニッケル水素	11,641	8,917	106%	133%	129,494	81,167	97%	121%
リチウムイオン	109,322	23,957	119%	105%	995,578	241,143	101%	102%
その他の二次	8,031	17,202	84%	142%	87,259	131,844	111%	151%
全電池合計（輸 入）	194,326	17,697	152%	122%	1,244,659	159,077	108%	120%
一次電池計	184,811	2,765	155%	124%	1,160,106	18,944	108%	103%
マンガン	17,623	219	100%	113%	137,963	1,486	102%	98%
アルカリボタン	3,693	27	87%	96%	23,823	173	88%	85%
アルカリその他	142,608	1,830	184%	169%	823,287	10,481	112%	104%
酸化銀	160	5	201%	228%	1,831	59	164%	158%
リチウム	16,352	588	110%	103%	121,712	5,291	97%	104%
空気亜鉛	4,368	82	85%	87%	51,214	890	105%	101%
その他の一次	6	15	50%	6%	277	563	148%	98%
二次電池計	9,515	14,931	115%	122%	84,552	140,133	109%	122%
鉛蓄電池	710	3,206	112%	114%	6,475	30,174	97%	103%
ニカド	92	159	139%	88%	579	1,434	82%	87%
ニッケル鉄	0	0	—	—	1	1	8%	16%
ニッケル水素	2,240	468	107%	119%	19,203	3,973	100%	97%
リチウムイオン	6,364	10,053	119%	127%	57,082	93,934	115%	137%
その他の二次	108	1,046	65%	109%	1,212	10,618	112%	97%